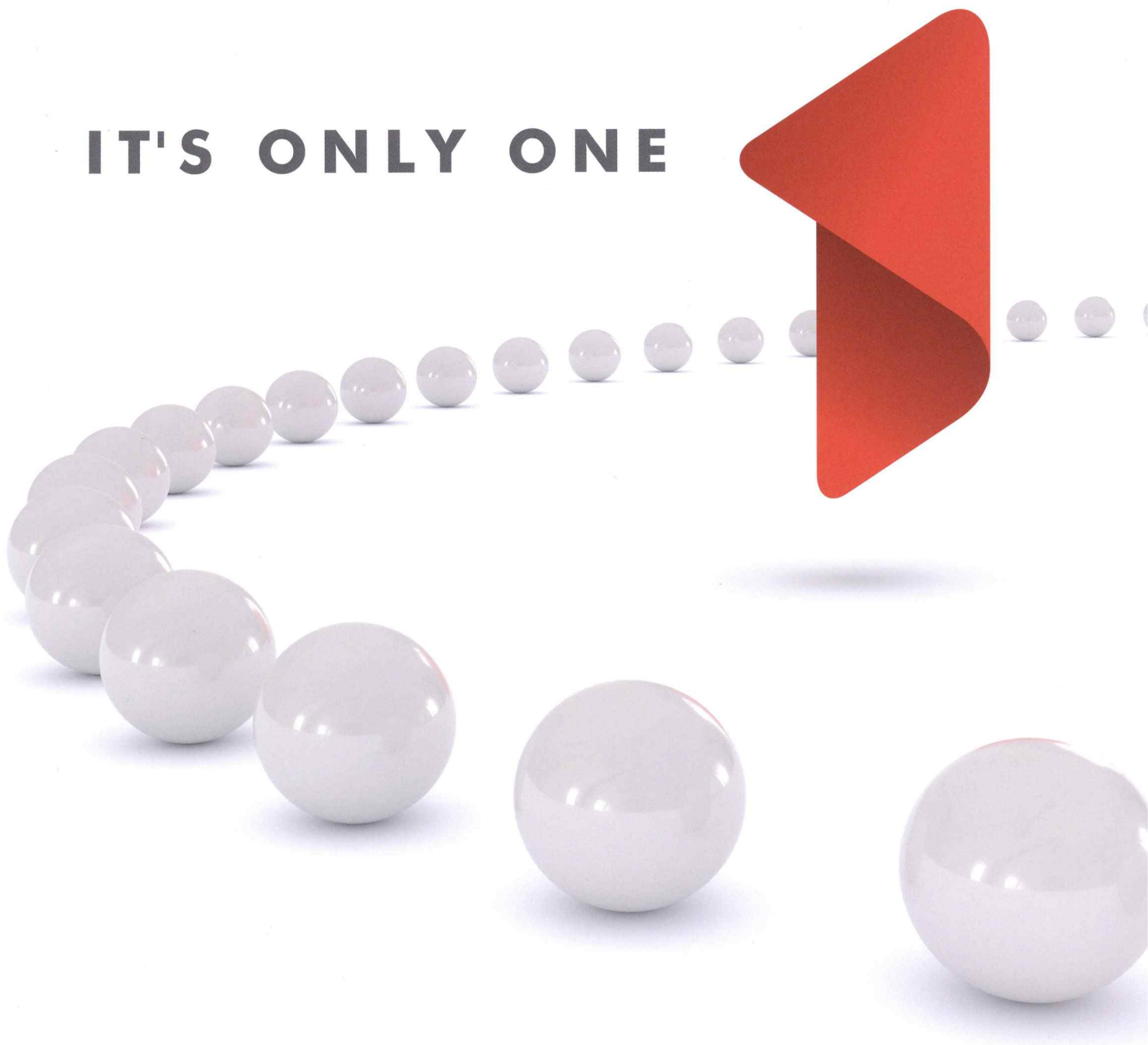


IT'S ONLY ONE





# IT'S ONLY ONE

「世界にたったひとつ」のものづくり

我が社はこれまで、石油化学、化学工学、食品化学、新エネルギー、化学合成、各種溶剤の試験機、原子力工業、製鋼、製紙等の様々な分野における試験装置を設計製作してきました。

特に高温高圧及び真空の分野における試験装置の実績についてはお客様より高い信頼を得てきたと自信を持っています。

そして、近年の工業技術の発達はさらに目覚ましいものがありますが、

それにしなだてて様々な分野における基礎技術、

応用技術に対する開発のニーズはますます増えてきている状況だと感じています。

試験装置の内容も年々高度化していく中で、

我が社もますます高度な専門知識と技術力を蓄積していかなければ

お客様からの要求に対応していく事が出来なくなると考え日夜努力を重ねています。

## 高圧（減圧）装置とは

高圧（減圧）装置は環境を整える装置です。地球上では1気圧（0.1MPa）、25℃程度が一般的で、周りは窒素を多く含む空気に囲まれています。圧力容器内では深海10,000mの環境である100MPaの水圧環境、750Pa、二酸化炭素という火星の大気も再現が可能です。希望する環境を実現できる装置が我が社が提供している高圧装置なのです。通常とは違う環境で実験をすることでこれまでは得られなかった結果を得ることができる為、多くの研究者が継続して研究しています。



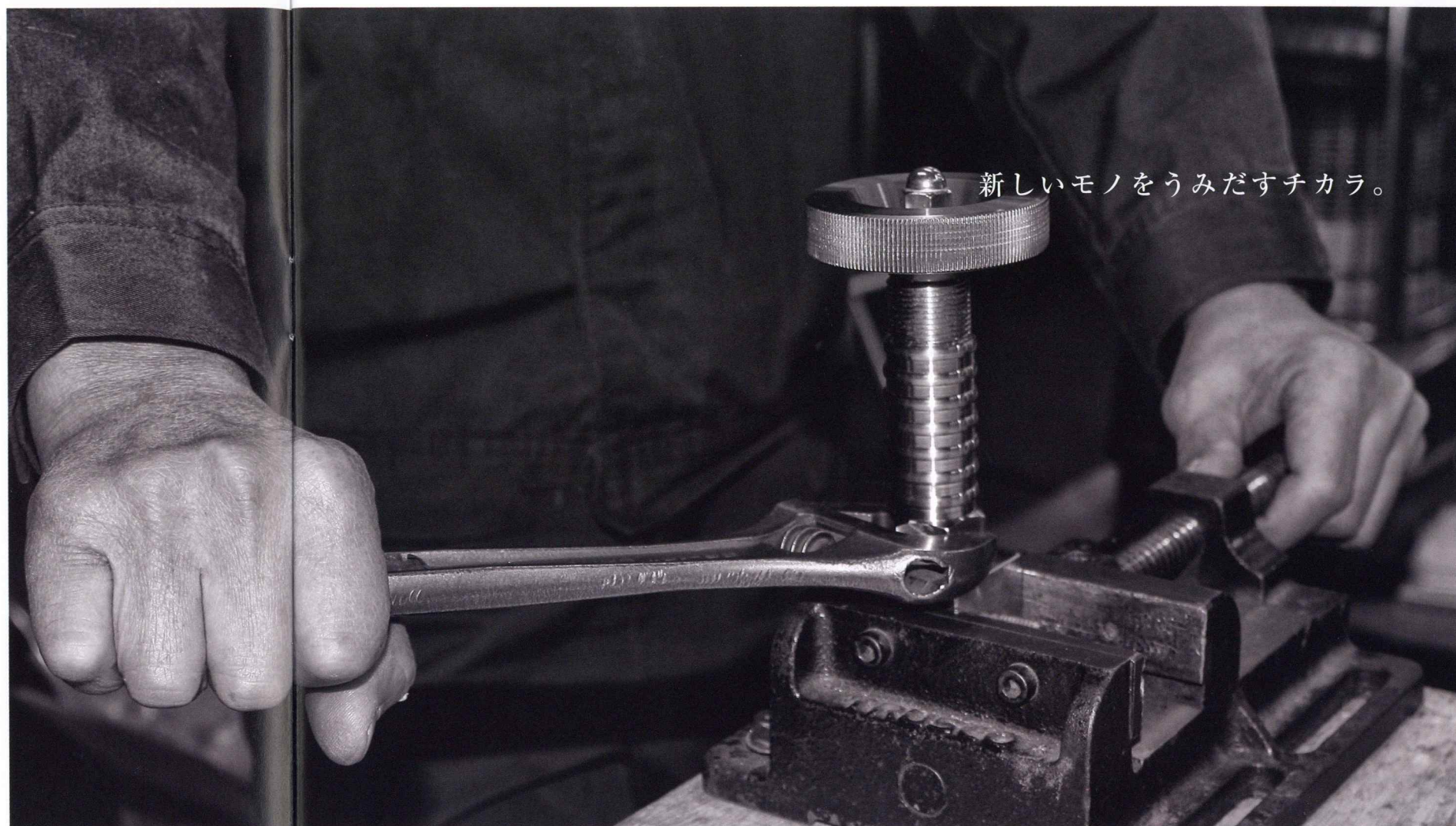


TAKUMI

# 匠

『常に挑戦し続けること』に  
こだわって仕事をしています。

受け継がれる職人の技と想い



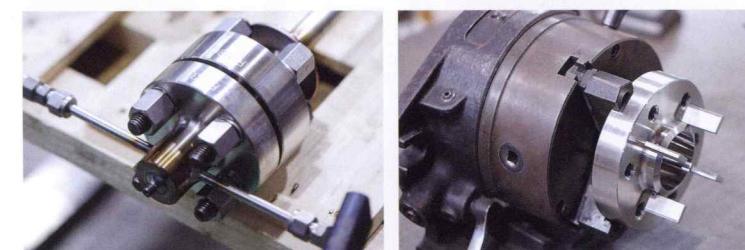
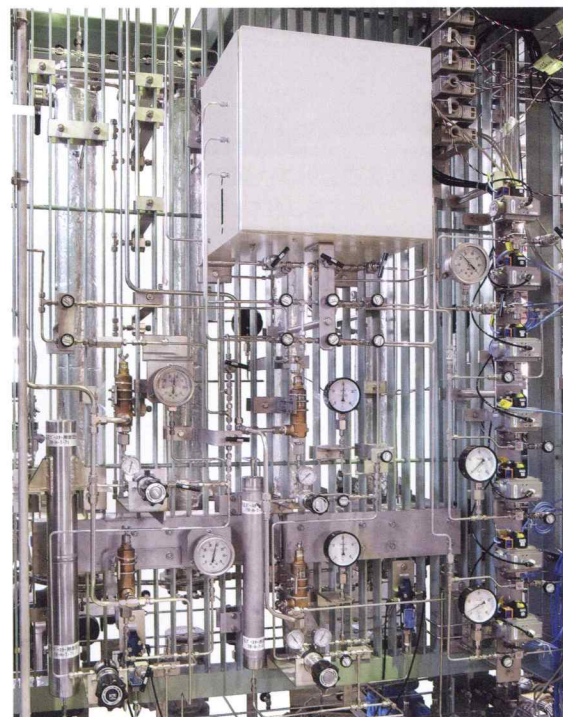
新しいモノをうみだすチカラ。

研究者の発想を装置に。  
人々の夢をかたちに。

我が社が提供するの、一般的な機械装置ではありません。  
工業技術発展の可能性や先端テクノロジーの進化の方向性、ひいては私たちの社会の未来像までも描き出し、動かしていく特別な装置です。  
我が社の装置から、今日も新たな可能性が生まれています。



国内トップクラスの技術力



希少鋼材で公差0.01mm以下の精密加工



# 一貫した生産体制。

我が社は設計から部材加工、組立、検査まで自社で行っています。  
材料庫にはハステロイ・チタン・インコネル等の各種特殊金属が揃っています。我が社の製作する高温高圧装置は市販品の継手・ネジ等は耐えられない事が多い為、丸棒から継手・ネジ等を旋盤・溶接加工して造り出しています。  
また、制御盤製作及び配線工事も自社内で行っています。

## 難加工品でも対応可能



装置組み立て加工場

## モノづくりの最初から最後まで

打合せ



見積



発注



設計



設計図承認



製作



出荷前検査



装置出荷



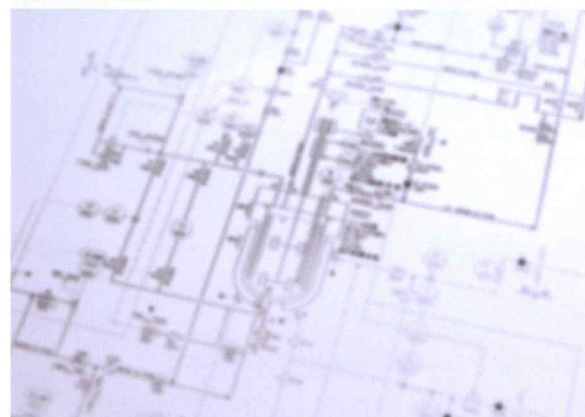
我が社は、案件ごとに担当者を決めて、設計・製作・出荷前検査まで、トータルに一任しています。



国内トップクラスの技術力で特注の高温高圧装置・超高圧加工装置などを製作致します。



装置図面(例)



## 少人数ならではのチームワーク





# Machine & Technology

## 高温高压実験装置 (超臨界装置国内シェア45%)

※2003年8月18日 日経ビジネスより

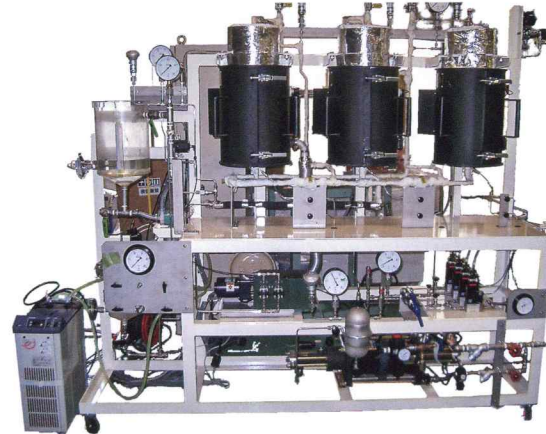
### ● 超臨界連続反応装置



ダイオキシン、PCBなどの難分解性とされる物質を超臨界水中で分解試験をするための設備です。  
 高压の水を連続的に押し込み高温高压での連続処理を実現しています。

【製品基本情報】  
 使用流体：水  
 設計圧力：70MPa  
 設計温度：500℃  
 主要材質：インコネル625

### ● 高压熱水酸化連続処理装置



水の中で燃焼する熱水湿式酸化技術を使うために開発された設備です。熱水分解、熱水酸化、熱水触媒反応など段階を追って処理を進める構成となっています。

【製品基本情報】  
 使用流体：水  
 設計圧力：10MPa  
 設計温度：280℃  
 主要材質：ステンレス316

### ● 流通式超臨界水反応装置

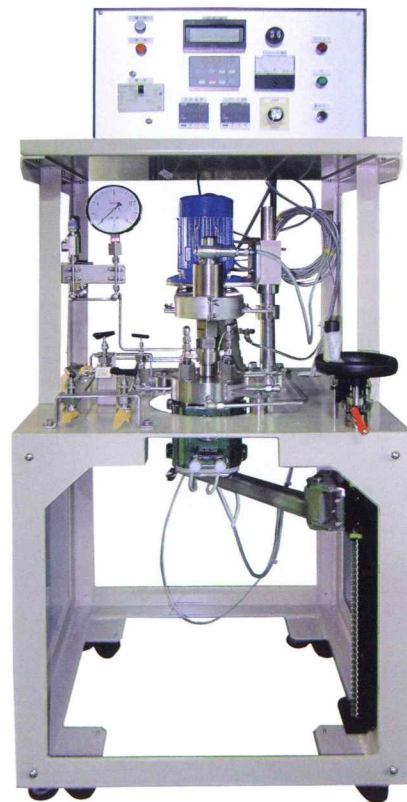


高温の超臨界水中で様々な物質の分解反応をテストするための装置です。被処理物をスラリー状とすることで連続的な処理が可能となります。

【製品基本情報】  
 使用流体：水  
 設計圧力：40MPa  
 設計温度：650℃  
 主要材質：ハステロイC-276

アミノ酸合成や触媒還元、水添反応、有機合成、酸化反応、重合反応等に利用されている装置です。

### ● 磁力誘導攪拌式オートクレーブ



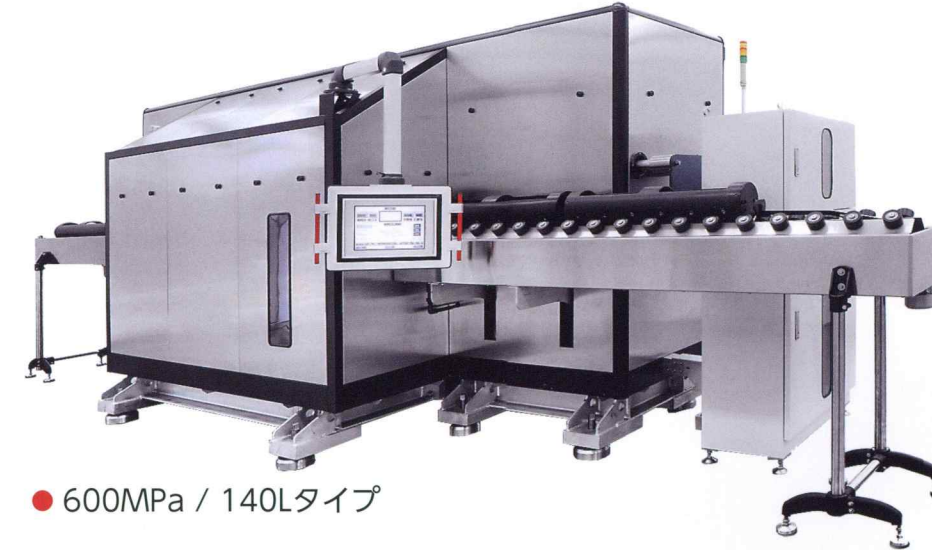
## 超高压加工装置 (100MPa) / 超高压殺菌装置 (600MPa)

水を媒体とし、様々な素材に簡単・安全に100MPa~600MPaの高圧力をかけることができる装置です。小規模試験用から生産用まで対応可能です。

### ● 100MPa / 2Lタイプ



### ● 100MPa / 300Lタイプ



### ● 600MPa / 140Lタイプ

### ● 600MPa / 150mLタイプ



## その他製品例



### ● 可視窓付高温高压セル

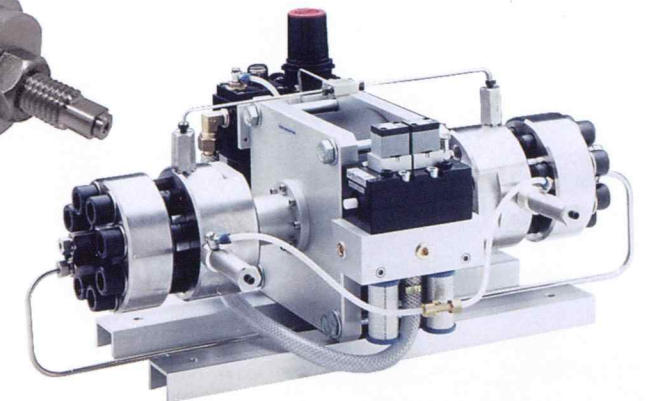


### ● 高温高压セル

### ● 高压用バルブ



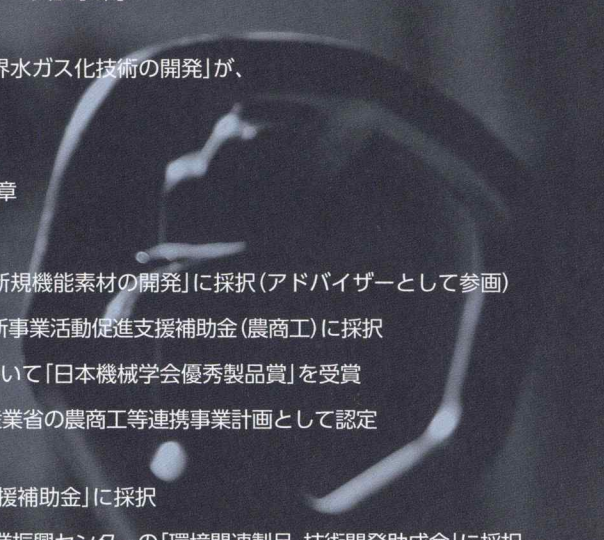
### ● 特注スラリーポンプ





# 受賞履歴

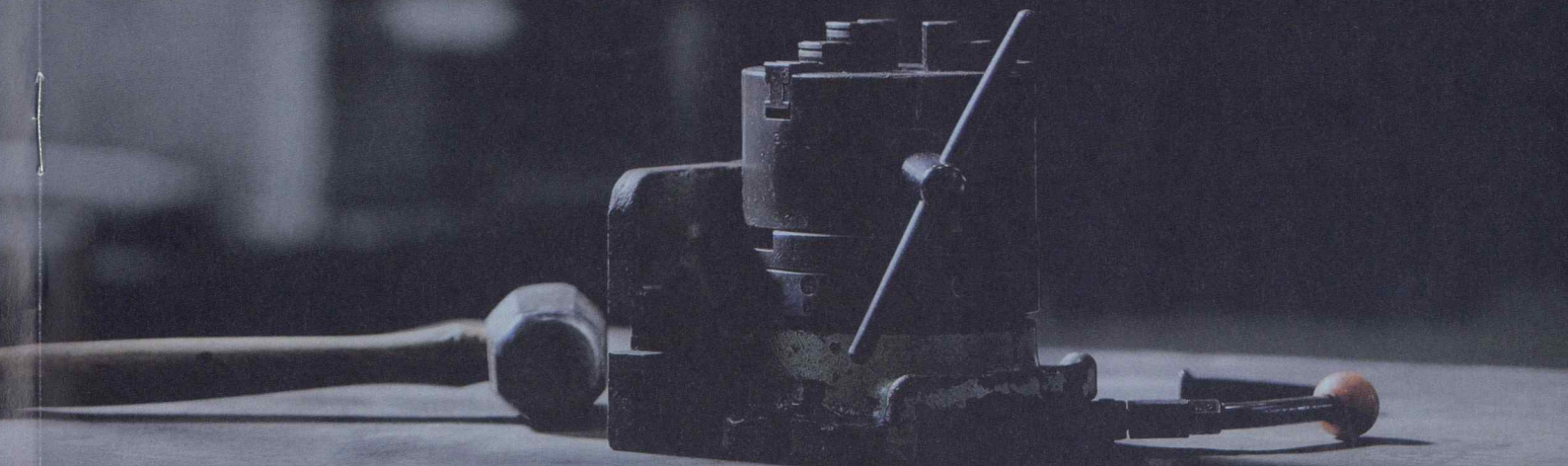
- 2015年 産総研・東北大学他とNEDO委託事業実施(エネルギー・環境新技術先導プログラム)(2015年3月~2016年2月)
- 2014年 革新ビジネスアワード2014において「レイテック賞」を受賞
- 2014年 広島大学・中国電力とNEDO委託事業実施(再生可能エネルギー熱利用技術開発)(2014年10月~2019年3月予定)
- 2012年 「超高压殺菌と低温長期熟成技術による生食用魚肉製造販売システムに関する実証事業」が平成24年度地域新成長産業創出促進事業費補助金に採択
- 2012年 広島大学との共同研究「触媒懸濁スラリーによる含水性バイオマスの超臨界水ガス化技術の開発」が、日本機械学会中国四国支部技術創造賞を受賞
- 2012年 第4回「ものづくり日本大賞」において製品・技術開発部門「優秀賞」を受賞
- 2011年 野口賢二郎(現・取締役会長)が平成23年春の褒賞における「藍綬褒章」を受章
- 2011年 広島県イノベーション人材育成事業に係る補助事業に認定
- 2010年 地域イノベーション創出研究開発事業「岡山産ピオーネがどうを活用した新規機能素材の開発」に採択(アドバイザーとして参画)
- 2010年 「高含有機能性エキス商品群の製造・販売」が、中国経済産業局の平成22年度新事業活動促進支援補助金(農商工)に採択
- 2010年 (社)日本機械学会より、汎用タイプの超高压処理装置「まるごとエキス」について「日本機械学会優秀製品賞」を受賞
- 2010年 「青森県産野菜を活用した高含有機能性エキス商品群の製造・販売」が、経済産業省の農商工等連携事業計画として認定
- 2009年 「CO2専用・高圧・コンパクト熱交換器の開発」が、全国中小企業団体中央会の「平成21年度ものづくり中小企業製品開発等支援補助金」に採択
- 2009年 「触媒前駆体利用による小型超臨界水廃液処理装置の開発」が、(財)広島市産業振興センターの「環境関連製品・技術開発助成金」に採択
- 2009年 「まるごとエキスの事業計画」が、中国経済産業局の「新連携対策補助金」(平成21年度)に採択
- 2009年 「中高圧処理による伝統食品の革新的促成製造技術開発」が、平成21年度新たな農林水産政策を推進する実用技術開発事業の新規課題として採択
- 2009年 「超臨界水処理MOX燃料加工に関する研究開発」(東北大学と共同)が文部科学省の委託事業として採択
- 2009年 「亜臨界水処理による牛肉骨粉の不活化等に関する研究開発」(九州大学と共同)が農林水産省の委託事業として採択
- 2009年 (社)日本機械学会中国四国支部より、汎用タイプの超高压処理装置「まるごとエキス」の開発及び事業化について「技術貢献賞」を受賞
- 2008年 「触媒前駆体利用による小型超臨界水廃液処理装置の開発」(東京大学と共同)が、広島市の「環境関連製品・技術開発補助金」に採択
- 2008年 (社)日本ニュービジネス協議会連合会より、「ニッポン新事業創出大賞」(最優秀賞)(経済産業大臣賞)を受賞
- 2008年 「まるごとエキスによる嚙下食品の製造技術の開発」を、県立広島大学と共同研究



# 主な納入先 (敬称略)

- 特殊法人関係**  
石川県農林総合研究センター/JAXA/宇宙航空研究開発機構/岡山県産業振興財団/核融合科学研究所/京都高度技術研究所/京都市産業技術研究所/高知県工業技術センター/AIST/産業技術総合研究所/農業・食品産業技術総合研究機構 食品研究部門/電力中央研究所/JAEA/日本原子力研究開発機構/日本機械学会/兵庫県立工業技術センター/NIMS/物質・材料研究機構/北海道立総合研究機構 工業試験場/地震局・地質研究所(中国)
- 大学等**  
大阪大学/大阪市立大学/岡山理科大学/金沢大学/九州大学/京都大学/近畿大学/佐賀大学/静岡大学/信州大学/筑波大学/東京大学/東京工業大学/首都大学東京/東北大学/徳島大学/鳥取大学/名古屋大学/長岡技術科学大学/長崎大学/日本大学/福岡大学/広島大学/兵庫大学/福山大学/北海道大学/宮崎大学/明治大学/山梨大学/香港科技大学(香港)
- 民間企業** (株)は省略  
朝日ライフサイエンス/アステラス製薬/IHIプラントエンジニアリング/旭エンジニアリング/旭化成/旭硝子/旭製作所/味の素/イーエヌ大塚製薬/イノアック/岩谷産業/越後製菓/NTTデータエンジニアリングシステムズ/大阪ガス/岡谷鋼機/オルガノ/花王/川崎重工業/木村化工機/クボタ/クラレ/コカ・コーラ/山陽工営/山陽精螺工業/四国化成機/島津サイエンス東日本/島津サイエンス西日本/昭和電工/JEFテクノリサーチ/信越化学工業/新興プラントック/新日鉄住金化学/新日鉄住金エンジニアリング/新日鉄住金ステンレス/住友精化/住友林業/住友化学/住友金属鉱山/住友ベークライト/ダイセル/セイカエンジニアリング/中国電力/千代田化工建設/中外テクノス/第一科学/第一実業/セントラルエンジニア/タンブルウッド/帝人/帝国電機製作所/東京ガス/東京産業/東洋紡エンジニアリング/東洋紡総合研究所/東洋新薬/東ソーファインケム/東芝/東レ/戸田工業/日本鐵板/日本ホリプロ/日本測器/日本分光/日本フッソ工業/日本通運/日本特殊機械/日本ソフケン/日本たばこ産業/日本エネルギー開発/日本薬品/日本電計/日本ペイント/日本ポリケム/日揮ユニバーサル/ノビア/広島ガステクノサービス/水島アロマ/バブ日立工業/日立化成工業/日阪製作所/広島三菱エンジニアリング/広島ガステクノサービス/福岡酸素/前川製作所/フジキン/三井化学/三井・デュポンポリケミカル/三井造船/三井物産プラントシステム/三井金属鉱業/三井造船プラントエンジニアリング/北浜製作所/マツダ技術研究所/三菱日立パワーシステムズ/三菱化学/三菱重工業広島製作所/三菱重工業長崎製作所/三菱ガス化学/三菱レイヨン/三菱レイヨンエンジニアリング/三菱化学エンジニアリング/三菱樹脂/三菱製紙/三菱重工鉄構エンジニアリング/三菱マテリアルテクノ/ヤスハラケミカル/ワイエムシィ化学機器 その他多数

- 2008年 「まるごとエキスによる発酵食品の製造技術等の開発」を、(独)農業・食品産業技術総合研究機構(食品総合研究所)と共同研究
- 2008年 日本食品工学会より、「日本食品工学会 産学官連携賞」(2008年度)を受賞
- 2008年 中小機構基盤整備機構 理事より、「まるごとエキスの事業」に「感謝状」を授けられる
- 2008年 「まるごとエキスの事業」が、中小企業基盤整備機構より「中小企業産学官連携成功128社」に選定
- 2008年 「まるごとエキスの事業計画」が、中国経済産業局の「新連携対策補助金」(平成20年度)に採択
- 2008年 「まるごとエキスの開発&事業化」で、日刊工業新聞社より「中小企業新技術・新製品賞」(第20回)を受賞
- 2008年 (財)機械振興協会より、「新機械振興賞」(第5回)を受賞
- 2007年 「まるごとエキスを使った葡萄ベースの抗ピロリ機能性食品の開発」(広島大学と共同)が科学技術振興機構の「実用化可能性試験」に採択
- 2007年 経済産業省より、「ものづくり日本大賞」(第2回)を受賞
- 2007年 「まるごとエキスを使った梨ベースの抗ピロリ機能性食品の開発」(広島大学と共同)が中国経済産業局の「地域資源活用型研究開発事業」に採択
- 2007年 「まるごとエキスの用途開発」を、(独)農業・食品産業技術総合研究機構(食品総合研究所)と共同研究
- 2007年 「まるごとエキスの事業計画」が、中国経済産業局の「新連携対策補助金」(平成19年度)に採択
- 2007年 「まるごとエキス」が、農林水産省の「平成18年度食料クラスター推進補助事業の食品製造加工技術基盤データベース」へ登録
- 2006年 「まるごとエキスの事業計画」が、中国経済産業局より「異分野連携新事業分野開拓計画(新連携事業)」に認定
- 2006年 「高圧処理装置(まるごとエキス)の開発」(広島県保有の圧力酵素分解技術の特許をベース)が、広島県の「ひろしま産業創生補助金」に採択
- 2006年 広島県より、「経営革新計画」の承認
- 2006年 「まるごとエキスの市場調査事業」が、(独)中小企業基盤整備機構の「創業・経営革新支援事業」(平成18年度)に採択
- 2006年 経済産業省(中小企業庁)より、「元気なモノ作り中小企業300社」に選定
- 2005年 広島県と、「圧力酵素分解技術」の「特許権実施許諾契約」を締結
- 2003年 「科学技術振興功績者」として、「文部科学大臣賞」を受賞
- 2002年 広島県より、「中小企業経営革新支援法による経営革新計画」の承認
- 1999年 「中小企業創造活動促進法による認定企業」に指定
- 1996年 「自動生力二足皮むき装置」で、科学技術庁長官より「注目発明賞」を受賞
- 1994年 「自動生力二足皮むき装置」の発明製品化により、「発明大賞」を受賞





# 仕様確認書

# 仕様確認書

記入例

貴社名	
御住所	都 府 県 道 市
部署名	
電話:	FAX:
御名前	
Mail:	
ユーザー様名	
納入場所	都 府 県 道 市

貴社名	株式会社東洋高圧
御住所	広島 都 府 (県) 道 広島市 西区楠木町2丁目1-22
部署名	営業部
電話:	082-237-6255 FAX: 082-230-0611
御名前	東洋 太郎
Mail:	
ユーザー様名	
納入場所	東京 (都) 府 県 道 中央区市 日本橋馬喰町2-7-13 第8東洋ビル

※太字部分の御記入を可能な限りお願い致します ※記入無き項目は弊社標準仕様にて御見積致します

※太字部分の御記入を可能な限りお願い致します ※記入無き項目は弊社標準仕様にて御見積致します

項目	名称	仕様	備考、その他
1	容器	本体接液部・接ガス材質: (例:SUS304, SUS316, チタン, ハステロイ, インコネル 他) 容器内面仕上:要 (研磨仕様: ) 不要	
2	容器容量	設計容量: L 仕込量: L	
3	圧力	設計圧力: MPa 使用圧力: MPa	
4	温度	設計温度: °C 使用温度: °C	
5	内容物	流体名: (可燃性・毒性・腐食性) 物性: pH値 粘度 比重 比熱 スラリー: 有 無	
6	加圧方式	内容物のみの飽和蒸気圧(成り行き圧力) 内容物+充填ガスの飽和蒸気圧(成り行き圧力) 内容物+充填ガスによる強制加圧 充填ガス(例:窒素, 水素, 酸素 他)	
7	攪拌機構	要 不要	
7	攪拌回転数	Max: rpm Min: rpm	
7	攪拌翼	バドル タービン アンカー ヘリカルリボン その他	
8	サンプリング	要 (ガス 液) 不要	
9	ドレンバルブ	要 不要	
10	制御盤	非防爆 ガスパージ(窒素 or 空気) 表示: 温度 圧力 攪拌回転数 その他 記録: 温度 圧力 その他	
11	架台	材質:SS400(塗装色: ) SUS その他	
12	加熱方式	電気炉 バンドヒーター 鑄込ヒーター ジャケット(熱媒:スチーム オイル) その他	
13	防爆仕様	非防爆 耐圧防爆 その他	
14	適用法規	小型圧力容器 第一種圧力容器 第二種圧力容器 高圧ガス設備試験(毒・燃・以外) 高圧ガス特定設備試験 非適応	
15	出荷前検査	弊広島本社にて、出荷前検査及び操作説明指導をさせていただきます。	
16	輸送	平トラック ユニック車 ※車上渡しを標準としております	
17	貴社での作業	『無し』を標準としておりますが、必要な場合は ご要望及び設置場所状況等をご記入下さい	
18	設置場所	屋内:階数 屋外: 据付場所寸法制限: 横幅 奥行 高さ 搬入経路制限: 幅 段差有無 エレベータ仕様	
19	その他、付帯設備、ご要望 等		

項目	名称	仕様	備考、その他
1	容器	本体接液部・接ガス材質: <b>SUS316</b> (例:SUS304, SUS316, チタン, ハステロイ, インコネル 他) 容器内面仕上:要 (研磨仕様: ) <b>不要</b>	
2	容器容量	設計容量: <b>1</b> L 仕込量: <b>0.5</b> L	
3	圧力	設計圧力: <b>20</b> MPa 使用圧力: <b>15</b> MPa	
4	温度	設計温度: <b>350</b> °C 使用温度: <b>330</b> °C	
5	内容物	流体名: <b>水</b> (可燃性・毒性・腐食性) 物性: pH値 <b>1</b> 粘度 比重 <b>1</b> 比熱 スラリー: 有 <b>無</b>	
6	加圧方式	内容物のみの飽和蒸気圧(成り行き圧力) ○ 内容物+充填ガスの飽和蒸気圧(成り行き圧力) ○ 内容物+充填ガスによる強制加圧 × 充填ガス(例:窒素, 水素, 酸素 他) ×	
7	攪拌機構	<b>要</b> 不要	
7	攪拌回転数	Max: <b>150</b> rpm Min: <b>100</b> rpm	
7	攪拌翼	<b>バドル</b> タービン アンカー ヘリカルリボン その他	
8	サンプリング	<b>要</b> <b>ガス</b> <b>液</b> 不要	
9	ドレンバルブ	<b>要</b> 不要	可能であれば
10	制御盤	非防爆 ガスパージ(窒素 or 空気) 表示: <b>温度</b> <b>圧力</b> <b>攪拌回転数</b> その他 記録: 温度 圧力 その他	
11	架台	材質 <b>SS400</b> (塗装色: <b>黒</b> ) SUS その他	
12	加熱方式	<b>電気炉</b> バンドヒーター 鑄込ヒーター ジャケット(熱媒:スチーム オイル) その他	
13	防爆仕様	<b>非防爆</b> 耐圧防爆 その他	
14	適用法規	<b>小型圧力容器</b> 第一種圧力容器 第二種圧力容器 高圧ガス設備試験(毒・燃・以外) 高圧ガス特定設備試験 非適応	
15	出荷前検査	弊広島本社にて、出荷前検査及び操作説明指導をさせていただきます。	
16	輸送	平トラック ユニック車 ※車上渡しを標準としております	
17	貴社での作業	『無し』を標準としておりますが、必要な場合は ご要望及び設置場所状況等をご記入下さい	
18	設置場所	屋内:階数 屋外: 据付場所寸法制限: 横幅 奥行 高さ 搬入経路制限: 幅 段差有無 エレベータ仕様	
19	その他、付帯設備、ご要望 等		



## 圧力容器の法的区分

関係省庁	厚生労働省		
該当法規	ボイラー及び圧力容器安全規則(労働安全衛生法)		
呼称	第一種圧力容器	小型圧力容器	第二種圧力容器
PV値(P:MPa,V: m <sup>3</sup> )	PV>0.02	0.02≧PV>0.004	PV≧0.004
製造時検査受機関	都道府県労働基準局	ボイラー協会	
設置時申請機関	所轄労働基準監督署	必要なし(所轄労働基準監督署→報告書)	
取扱資格の要否	第一種圧力容器取扱作業主任者	—	
保安検査	年1回	自主点検	
検査・試験	<耐圧(水圧)試験のみ> 0.1MPa以下(鋳鉄製):0.2MPa 0.1MPaを超える(鋳鉄製):2倍 鋼製・非鉄金属製:1.5倍(温度補正要)	<耐圧(水圧)試験のみ> 0.1MPa以下:0.2MPa 0.1MPaを超え0.43MPa以下:2倍 0.43MPaを超える:1.3倍+0.3MPa	第一種圧力容器と同じ
	グラスライニングの場合は設計圧力		
適用流体	蒸気等		気体
備考	<p>&lt;第一種圧力容器の定義&gt;</p> <p>1.蒸気やその他の熱媒を受け入れる容器、又は蒸気を発生させて固体または液体を加熱する容器で、容器内の圧力が大気圧を超えるもの(2~3を除く)</p> <p>2.容器内における化学反応、原子核反応等により蒸気が発生する容器で、容器内の圧力が大気圧を超えるもの</p> <p>3.容器内の液体の成分を分離する為、液体を加熱し、その蒸気を発生させる容器で、容器内の圧力が大気圧を超えるもの</p> <p>4.上記以外の容器で、大気圧における沸点を超える温度の液体を内部に保有するもの</p>	<p>&lt;小型圧力容器の定義&gt;</p> <p>ゲージ圧力が0.1MPa以下の容器で内容積:0.2m<sup>3</sup>以下、または胴の内径が500mm以下、且つ長さが1000mm以下のもの</p> <p>&lt;簡易容器の定義&gt;</p> <p>PV値:0.004以下の場合</p> <p>製作及び設置時の申請は不要</p> <p>ボイラー等構造規格の遵守が義務づけられている</p>	<p>&lt;第二種圧力容器の定義&gt;</p> <p>ゲージ圧力0.2MPa以上の気体を内部に保有する容器(第一種圧力容器を除く)で内容積が0.04m<sup>3</sup>以上、または胴の内径が200mm以上、且つ長さが1000mm以上のもの</p>

※この表は簡易の為、詳細は関係法規にてご確認下さい。

## 高圧ガスの法的区分

関係省庁	経済産業省	
該当法規	高圧ガス保安法	
呼称	高圧ガス特定設備	高圧ガス設備
区分	塔・反応器・貯槽 熱交換器・蒸発器 凝縮器・その他の圧力容器 等	熱交換器・往復動式圧縮機・往復動式ポンプ その他の付属機器類・管類・弁類・(毒性ガスのみ)継手類 複合機器・その他の圧力容器類 等
PV値(P:MPa,V: m <sup>3</sup> )	PV>0.004	PV≦0.004
製造時検査受機関	高圧ガス保安協会	
設置時申請機関	都道府県知事	
取扱資格の要否	甲、乙種(化学・機械)高圧ガス製造保安責任者	
保安検査	第一種製造者:年1回の保安調査 第二種製造者:自主検査	
検査・試験	気密試験:設計圧力×1倍以上 耐圧(水圧)試験:設計圧力×1.5倍 (水を使用出来ない装置の場合は 気体耐圧試験:設計圧力×1.25倍)	
備考	<p>&lt;高圧ガスの定義&gt;</p> <p>1.圧縮ガス ①常用温度(または温度35℃)において、圧力が1.0MPa以上</p> <p>2.圧縮アセチレンガス ①常用温度(または温度15℃)において、圧力が0.2MPa以上</p> <p>3.液化ガス ①常用温度(または35℃)において、圧力が0.2MPa以上 液化アンモニア、液化二酸化炭素 等</p> <p>4.特定する液化ガスおよび法令で定める液化ガス 液化シアン化水素・液化ブロムメチル・液化酸化エチレン</p>	

※この表は簡易の為、詳細は関係法規にてご確認下さい。





我が社は「研究者の発想を装置に」という理念を掲げ、最先端の研究を支援する試験装置の開発に携わった経験と、積み上げたノウハウを活用して技術開発をサポートします。

これは新しいことに取り組む研究員の話聞き、目的を理解してカタチ（装置）にするということであり、会社の取り組みそのものです。しかし、新しいことに取り組むことは簡単ではありません。それでも、お客様が信頼を寄せて下さるからこそ真摯に「お客様の満足や技術の発展に繋がるもの」、「お客様にとって必要なもの」となるような装置を造りたいと考えています。そして、お客様の信頼に対して向き合い「私どもと一緒に仕事をして良かった」と言ってもらえるように1案件ずつ丁寧な仕事を心がけていきます。

代表取締役社長 野口 琢史

創業者のことは

世界に一つだけの装置を開発し続け、そこで培った経験とノウハウを少しでも社会に役立て貢献して行きたい。



取締役会長 野口 賢二郎



北岳より望む富士山

2番ではなく、1番であり続けるために。

超高温下試験、高圧状況下試験、超高真空下試験、等々…製品に要求される機能・仕様は、テクノロジーの発展と比例して年々複雑になり、高度化の一途を辿っています。我が社はテクノロジー開発の最先端分野で活躍できる装置を製作する為に、専門技術・ノウハウを常に磨き続けています。



技術開発で日本を元気にしたい。

我が社が提供するの、いわば「テクノロジーの進歩のためのガイドライン」です。オンリーワンのテクノロジーによって、社会の発展に貢献し、技術大国日本を元気にしていくという使命感と誇りが原動力となっています。



八本松工場内の生産設備



研究・実験から装置設計・製作  
 および受託製造まで  
 「東洋ホールディングス」として  
 お客様に満足を提供しています。



### Production

- 高温高圧化学装置の設計・製作
- 化学機械、理化学機械の設計・製作
- 高圧ガス特定設備、第一種圧力容器等の反応容器及び真空容器の設計・製作
- 高圧機器及び高圧流体制御機器の設計・製作
- 高圧ガス及び真空配管工事の設計・施工
- 高圧ガス個別認定・バルブ
- 真空容器および真空装置の設計・製作
- 機械関係・電気関係の設計分野におけるCADシステムによる設計
- 上記各項に附帯する施工に関する一切の事業

超臨界技術研究所、東洋サプリ社屋



### R & D

- 受託研究（抽出、分解等）
- 超臨界を活用した食品、化粧品等の新商品企画
- 産学連携など各種プロジェクト事業
- 超臨界装置販売

### Making

- サプリメント、健康食品、化粧品等の製造、販売
- 超高圧や超臨界技術を活用した食品、化粧品等の新企画
- 超高圧装置を活用したエキスの製造・販売
- 産学連携など各種プロジェクト事業
- 高圧処理装置の販売

東洋高圧 本社屋



IT'S ONLY ONE

たしかに未来へ  
 株式会社 東洋高圧



## 会社概要

名称	株式会社 東洋高圧
創業	1974年4月20日
設立	1981年4月9日
資本金	10,000,000円
役員	代表取締役社長 野口 琢史 取締役会長 野口 賢二郎
事業内容	1. 高温高圧化学装置の設計・製作 2. 化学機械、理化学機械の設計・製作 3. 高圧ガス特定設備、第一種圧力容器等の 反応容器及び真空用容器の設計・製作 4. 高圧機器及び高圧流体制御機器の設計・製作 5. 高圧ガス及び真空配管工事の設計・施工 6. 高圧ガス個別認定・バルブ 7. 真空容器および真空装置の設計・製作 8. 機械関係・電気関係の設計分野における CADシステムによる設計 9. 上記各項に附帯する施工に関する一切の事業
取引銀行	広島銀行 白島支店、もみじ銀行 本店営業部 山口銀行 広島西支店
従業員	32名(2018年5月現在)

## 沿革

1974年	4月	実験用の特殊機器の受注事業を創業
1981年	4月	株式会社東洋高圧設立
1986年	7月	株式会社東洋システム設立
1990年	12月	本社ビル竣工と共に広島市西区に移転
2000年	3月	アメリカのPPI社と技術提携
2000年	3月	フランスのTOP社製品の販売を開始
2005年	1月	第3ビル東洋を竣工
2005年	3月	株式会社東洋システムを 株式会社超臨界技術研究所に商号を変更
2007年	9月	八本松工場を設立・稼働
2009年	3月	日本経済団体連合会 御手洗会長が来社
2009年	4月	東京営業所開設
2010年	4月	経済産業省 望月事務次官が来社
2011年	12月	野口琢史が取締役社長に就任
2013年	6月	東京営業所を東京都中央区に移転 支店に昇格
2015年	6月	野口琢史が有限会社 廣島ボイラー工業 取締役社長に就任
2016年	12月	PPI JAPANよりSundyne社のダイヤフラムコンプレッサー 製品のサポート、取扱業務を引き継ぐ
2018年	10月	西風新都 新工場竣工予定

たしかな未来へ  
株式会社 **東洋高圧**  
www.toyokoatsu.co.jp

### 【本社・工場】

〒733-0002 広島県広島市西区楠木町2丁目1-22  
TEL 082-237-6255 FAX 082-230-0611

### 【東京支店】

〒103-0002 東京都中央区日本橋馬喰町2-7-13 第8東洋ビル  
TEL 03-6667-0452 FAX 03-6667-0583

### 【八本松工場】

〒739-0141 広島県東広島市八本松町飯田507-18

### 【(有) 広島ボイラー工業】

〒733-0833 広島県広島市西区商工センター8-7-13



広島本社



東京支店



八本松工場